

普及項目	増殖
漁業種類等	採藻
対象魚類	ヒジキ
対象海域	有明海

島子地区におけるヒジキ増殖指導

天草広域本部水産課・永田 大生

【背景・目的】

島子地区は、ヒジキ資源に恵まれ 30 年度漁連共販においても最も出荷量が多かった。本地区では持続的な漁獲に向けて、平成 28 年度からヒジキ資源増殖の取組みを本格的に開始したため、水産課および天草市で基板やスポアバッグによる増殖方法を指導し、ヒジキ資源増加に寄与することを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1)28 年度設置した基板からのヒジキの伝播状況調査

日時：平成 30 年 5 月 17 日

場所：天草市島子地先（国道 324 号線の塩屋下の海岸線）

参加者：島子地区の漁業者 3 名、水産課 1 名

実施方法：28 年度設置した 3 ヶ所の基板からのヒジキの周囲への伝播状況について確認するため、ヒジキが広がり始めた場所の面積を測定した。

結果：3 ヶ所の基板のうち、2 ヶ所で基板周囲へのヒジキの伝播が確認された。基盤では、8.5m×13m、基板では、3.4m×10m の範囲に新たにヒジキが繁茂しており、合計で約 144.5m²に拡大した。

(2)スポアバッグによるヒジキ増殖の取組支援

日時：平成 30 年 6 月 1 日

場所：天草市島子地先（国道 324 号線の塩屋下の海岸線）

参加者：島子地区の漁業者 6 名、水産課 1 名

概要

基板から周囲にヒジキが伝播していることを受けて、地区の漁業者が同浜全体にヒジキを増やすため、ヒジキのスポアバッグに取り組むこととなった。そこで、水産課から母藻採取における雌雄判別方法などを指導し、20 株(オス 1 株、メス 19 株)を 1 束として選別し、2 日に分けて計 200 ブロックを海岸に設置した。

【成果・活用】

28 年度設置した基板周囲に新たなヒジキ資源の伝播が確認されたことで、その後漁業者によるスポアバッグによる増殖の取組みにつながった。本取組みを他地区に波及させるために、今後も継続してスポアバッグの効果調査などを実施することとしている。

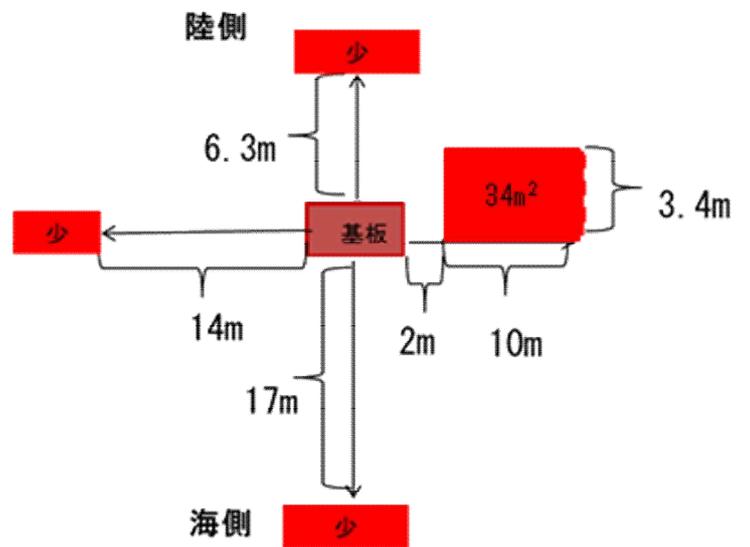
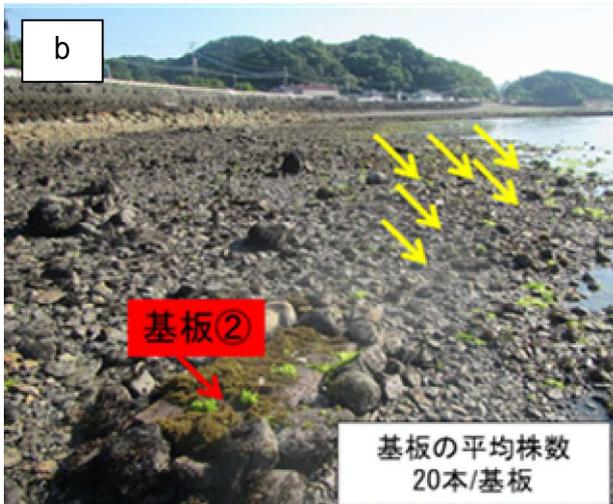
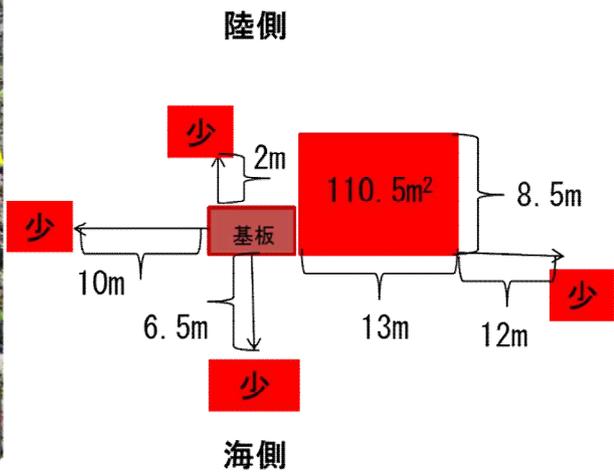


写真 島子地区におけるヒジキ増殖の取組み
 a: 基板 からヒジキの伝播調査結果
 b: 基板 からのヒジキの伝播調査結果
 c: スポアバッグに用いる母藻の雌雄選別作業
 d: 海岸に設置したヒジキのスポアバッグ

